

あやべ 市議会だより

No.138

2022年(令和4年)
8月発行



《写真》

あやべ良さ来い(八田幼稚園提供)

万灯流しと綾部高校カヌー部
撮影協力者:中山茂樹さん(上野町)



コロナ禍の長期化や原油価格、物価の高騰に 早期に対応するための予算を可決・承認

Digest

6月定例会

令和4年6月定例会を6月13日から7月1日までの19日間の会期で開催しました。

本定例会では市長から提案された議案12件を審議しました。議案については、いずれも原案のとおり可決・承認しました。（採決の結果は4ページに記載）

上程された議案は、3つの常任委員会に付託され、審査しました。その内容は次のとおりです。

総務教育建設委員会

住宅ローン控除の適用期限の延長など

●市税条例等の一部改正

令和4年度税制改正に伴い、「地方税法等の一部を改正する法律」が令和4年3月31日に公布されたことを受け、市税条例等の一部を改正するもので、主な改正内容は、住宅ローン控除の適用期限の延長、固定資産課税台帳の閲覧及び証明書の交付におけるDV被害者等の記載されている住所の見直し、上場株式等の配当所得等に係る課税方式の見直し、その他地方税法の改正に伴い所要の改正を行おうとするものとの説明がありました。

質疑の中で、「不動産の所有者がDV被害者である場合、住所に代わる事項として登記簿に親族、知人や支援団体の住所を記載することができる」と説明されたが、支援団体の住所が記載されることにより、逆に加害者に居場所を特定される恐れはないか」との質問に対し、「現時点で示されている住所に代わる事項は一例であり、現在の運用では前住所や前々住所の記載が行われていると聞いている。また、法務局の住所を住所に代わる事項として記載することも検討されているが、詳細については今後詰められる」との答弁がありました。

特に意見もなく、採決の結果、全員賛成で可決となりました。

●災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材一式を更新

大槻ポンプ工業株式会社と2,937万円で購入の仮契約を締結したとの説明がありました。

質疑の中で、「新しい資機材はあるか」との質問に対し、「新たな資機材はない。従来から所有している資機材が、少しずつ良くなっている」との答弁がありました。

特に意見もなく、採決の結果、全員賛成で可決となりました。

その他、6議案について審査を行い、採決の結果、全員賛成で可決及び承認となりました。

高度救命処置用資機材



導入予定と同型の災害対応特殊救急自動車

令和4年度 議会報告会「市民と議会のつどい」を開催いたしました

今年で11回目となる「市民と議会のつどい」を、5月13日から24日にかけて、市内12地区において開催し、166人の方にご参加いただきました。

最初に令和4年度の予算議案などの報告を行い、その後の意見交換会を充実させるため、時間を長くとらせていただきました。意見交換会では、道路河川改修、除雪、防災対策、自治会運営、有害鳥獣、定住促進など、市政全般にわたり157件のご意見やご要望をいただきました。頂戴しました貴重なご意見・ご要望については、今後の市政に活かすため、7月5日に山崎市長に報告いたしました。市議会では、今後も市民の皆様の声を市政に反映させられるよう努力してまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



産業厚生環境委員会

里山交流研修センターの整備が始まります

●里山交流研修センター整備工事請負契約を締結

里山交流研修センターの整備工事に伴い、建築本体工事は、福岡建設株式会社を契約相手方として、請負契約が締結されます。

契約金額は、1億7,380万円で、工期は令和4年7月2日から令和5年3月28日までの予定です。

質疑の中で、「宿泊定員は増えるのか、工夫した所や図面にあるロケットストープについて説明願いたい」との質問があり、「従前より定員は減少し30名としているが、コロナ禍により大部屋を無くし、洋室4名定員を7部屋、和室2名定員を1部屋とした。ロケットストープは屋内用で森林資源を考えてもらう機会になればということで導入を計画した」との答弁がありました。

また、「従前からの変更点は」との質問に対し、「コロナ禍による新しい生活様式に対応するためWi-Fi設備が利用できるコワーキングエリアを設けている」との答弁がありました。

さらに、「今回市が宿泊料の安い施設を建設することで、農家民宿の経営を圧迫することはないか、事前に説明会を開催し納得しても

らったのか」との質問があり、「団体利用がメインの施設であり、宿泊定員も従前より減少することから、農家民宿の経営圧迫にはつながらないと考えている。事前説明会は開催していないが、里山の理事の中にも農家民宿の経営者があり、情報は共有していただいていると考える」との答弁がありました。

「計画平面図を見ると、全室押戸になっているがユニバーサルデザインの関係で問題はないのか、車椅子にも対応しているのか」との質問があり、「京都府の福祉のまちづくり条例に適用した設計となっており問題はない」との答弁がありました。

特に意見もなく、採決の結果、全員賛成で可決となりました。



里山交流研修センター完成イメージ図

予算決算委員会

子育て世帯への給付金支給や給食費の支援を

●令和4年度一般会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対して、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するものです。

質疑の中で、「児童手当や児童扶養手当の受給者ではないその他の子育て世帯は申請方式でと聞いていたが、漏れなく周知するために、どのような取組や広報をされるのか」との質問に対し、「広報ねっとあやべやホームページへの掲載のほか、エフエムいかるでもPRする。申請期限が令和5年2月28日までとなっているので、随時広報を行っていく」との答弁がありました。

特に意見もなく、採決の結果、全員賛成で可決となりました。

●令和4年度一般会計補正予算(第3号)

物価・原油高騰対策としての給食費支援や国庫補助金の追加採択による駅北複合施設整備事業費の増額、コミュニティの醸成など、市民生活や地域活性化を支援するため6億3,426万9千円の追加予算を計上するもの

です。

質疑の中で、「西部地区の期日前投票所の設置事業費については、今後、費用対効果ももちろんあると思うが、投票率向上や分散という効果が見込める場合には、例えば市立病院の待合所などでも期日前投票所の設置を前向きに検討されるのか」との質問に対し「今回、選挙管理委員会において検討いただく中で、西部地区に期日前投票所1か所を新たに設置することで決定いただいたところだが、現在、更なる増設計画は持ち合わせていない。今後近隣市の状況や国・府の動向も見ながら検討していきたい」との答弁がありました。

また、「茶等燃油価格高騰対策支援事業費は団体への補助だが、これによって市内の茶農家のうちどれぐらいがカバーされているのか」との質問に対し「大半がカバーできるのではないかと考えている」との答弁がありました。

その他、専決処分事項の報告1件について審査を行い、採決の結果、3議案とも全員賛成で可決及び承認となりました。

議決結果の一覧

《 全員賛成で可決・承認した議案》

件 名		結 果
議第43号	市議会議員及び綾部市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の一部改正について	可 決
議第44号	市議会議員及び綾部市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	可 決
議第45号	市議会議員及び綾部市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について	可 決
議第46号	市税条例等の一部改正について	可 決
議第47号	市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	可 決
議第48号	まちづくり条例の一部改正について	可 決
議第51号	動産の取得について	可 決
議第52号	里山交流研修センター整備工事(建築本体工事)請負契約の締結について	可 決
令和 4 年度補正予算		
議第49号	一般会計補正予算(第2号)	可 決
議第50号	一般会計補正予算(第3号)	可 決
専決処分事項の報告		
報第1号	専決処分事項の報告について(市税条例の一部改正について)	承 認
報第2号	専決処分事項の報告について(令和3年度一般会計補正予算(第13号))	承 認

可決した意見書

- 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書
- 可決した意見書は関係機関へ送付しました。内容は10ページに記載。

防災対策特別委員会活動報告

■福知山市公立大学地域防災研究センター防災研修

防災対策特別委員会では、令和4年5月10日に福知山公立大で研修会を開催。同大学の横山泰昭地域防災研究センター長から、府北部の過去の災害を踏まえ、災害時の住民への避難の促し方などを解説いただいた。

綾部市の住民が台風や豪雨の際に毎回家族宅へ避難されており、平成30年7月の西日本豪雨災害では、住宅が避難中に全壊したが、命を守る事が出来た例を挙げ、避難の大切さを強調された。

また、由良川が最高水位に達した平成25年の台風18号時に、川の氾濫の危険性がある最中に、「今、雨がやんでいるから」と避難所から帰っていく人がいたと具体的でわかりやすい情報提供に工夫も必要だと説明を受けた。



一般質問

市政を問う

6月21日から23日の3日間にわたって15人の議員が市政全般について質問を行いました。ここでは一般質問の要旨を掲載します。(掲載は登壇順)

QRコードからアクセス

本号からQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像がご覧いただけます。お使いの携帯電話にQRコード読み取り機能がある場合、記事内のQRコードを読み取るだけでURLが表示されます。ホームページから検索しなくても手軽にアクセスできます。
※操作方法は、お使いの機種によって異なりますので取扱説明書等でご確認ください。

民政会 酒井 裕 史

地域ポイントの活用が必要では



Q 近年、独自の地域ポイントの活用に取り組み自治体が増えていると聞く。本市においては、健康増進の「あやちゃん健康ポイント」の事業を実施されているが、参加者を増やすために賛同される企業・団体・店舗を増やす必要があると感じるが、取組状況は。

A 今年度は、取組型に22、協賛型に5、両方に11と全38団体を認定している。取組型には啓発活動や健康ポイントの応募、協賛型には抽選商品の提供をいただき、健康に対して市民に広く関心を持っていたりするように取り組んでいる。

Q 最近では色々な取組の地域ポイント制度が増えている。中でも注目されているのが環境保全や省エネルギーを目的としたものである。本市も実施すれば、ゼロカーボンシティや10年後の紙ごみ50%削減の実現に近づいていくと思うがどうか。

A 国が策定した地域脱炭素ロードマップにおいては、地域のCO₂削減ポイントの普及拡大という方針も示されている。その中には、地域経済の活性化にも寄与するポイント付与の仕組みの実証のほか、CO₂の削減量計算のルールや仕組みの整備なども記載されている。今後は、国による仕組みの整備が進むため本市に合った手法を研究したいと考えている。

公明党 森 義 美

ヤングケアラーへの支援を



Q 家族の介護や世話などを日常的に行う18歳未満の子どもはヤングケアラーと言われるれており、政府は今年度から3年間を

認知度向上の集中取組期間と定めた。今年1月、小学6年生を対象にした厚生労働省初の実態調査では、約15人に一人に当たる6.5%が世話をしている家族がいると答えた。世話をしている家族がいる児童は、いない児童より欠席、遅刻、早退する割合が高く、学業、健康への影響が懸念されているが、本市では実態をどのように把握されているか。

A 児童福祉法の規定に基づき綾部市要保護児童対策地域協議会を設置し、要保護児童の早期発見、適切な保護、要支援児童への支援を図っている。同協議会で把握しているケースは12件で全体の6%を占めている。内訳として、幼いきょうだいや、病気・障害のあるきょうだいの世話、目の離せない家族の見守りや声掛けなどのケースがある。社会全体の認知度が低く、本人も気づかないケースもある。引き続き実態把握に努めたい。

Q 相談体制、支援強化など今後の取組はどうか。

A 福祉、介護、医療、教育などの関係機関職員の研修会やポスター、チラシ、HP等で情報発信に努め体制を整える。



一時支援に加え企業力向上支援を

民政会 種 清 喜 之



Q 前例に無いスピード・規模で物価・原油高が進行している。本市の産業界への影響は。

A 5月に実施した緊急経済対策

会議では、今回の物価・原油高は中小企業の経営を圧迫しており、コロナと異なりすべての業種に影響を及ぼしている関係機関から報告があった。

Q 物価高騰分を自社製品等に価格転嫁できる企業は、苦しいながらも対策を講じられるが、価格転嫁に時間を要する企業や、そもそも価格転嫁できない厳しい企業・業種もあり、行政の支援が必要。高騰分を補填する一時的支援に加え、ものづくり企業特別応援補助金のように、生産性向上や省エネなど企業の力自体を向上させる支援を今後も継続し、加えて対象を製造業以外の業種にも拡充することで、更なる高騰や長期化が予想される中、持続的に企業を支援できる制度になると考えるが、本市の見解は。

A コロナ禍では国・府の施策の隙間を狙った支援策を実施しており、生産性向上のための設備投資に役立ったとの評価をいただいたところ。原油価格や物価高騰対策については、国や府の支援策を見据えながら、緊急経済対策会議で関係機関等からの意見を参考に引き続き事業者に寄り添った支援策を検討したい。



物価高騰下の市民生活への支援は

日本共産党 中 島 祐 子



Q 原油や物価の高騰を受け、市として早急に中小零細企業を中心に幅広い事業者への支援策が必要では。

A 緊急経済対策

会議での要望、意見を参考に、国・府の動向を注視し、支援策を検討したい。

Q 今後ますます物価高騰が予想される中で、低年金や特に単身女性も含めた子育て世帯ではない低所得の方々へ更なる支援が必要では。

A 既存の生活困窮者に対する事業などを効果的に活用しつつ、国が実施する支援制度についても注視し、対応したい。

Q コロナ禍で収入が減った生活困窮者への特例貸付の利用状況は。

A 緊急小口資金、総合支援資金貸付、延長貸付、再貸付の全て合わせて、313件、総額は1億2,110万円。

Q 特例貸付は住民税非課税世帯は返還免除となるが、これは給与収入で換算すると例えば単身者では月収7万7,500円以下となる。これを超えると月1万円以上を返還しなければならない。免除枠拡大など市独自の支援が必要では。

A 償還手続や相談は、京都府社会福祉協議会が対応する。償還免除枠の拡大などの制度設計は、国でなされるべきものと考えており、今後の国の支援策の動向を注視したい。



いじめの未然防止と根絶の取組は

創政会 梅 原 哲 史



Q 教育委員会 は、いじめに係る特別な機能を有しておらず、本市における教育の基本方針を定め、それに沿って、各学校

の校長主導による自主的な教育活動を支援していく組織である。令和4年度の特徴的な教育方針のひとつ「いじめの未然防止と根絶」の4月からの市教委及び各学校の取組状況は。

A 市教委では各校へいじめ防止基本方針に基づく対応の徹底の指示、学校からのいじめに関する相談窓口の設置、中学校生徒指導委員会には警察職員の参加もお願いしてきた。各学校においては、自校のいじめ防止基本方針について、いじめの未然防止と早期発見の具体策、組織的対応の在り方、学校運営協議会との連携など内容の充実や改善を図っている。

Q 学校と地域住民が課題を共有し、同じ目線で学校運営に取り組む学校運営協議会制度が本年度から推進されている。いじめの未然防止と根絶を社会総がかりで対処するため、この観点からのアプローチも必要ではないか。

A 今後も学校教育はもとより、地域社会や家庭など、それぞれの役割を果たしながら、常に連携を密にし、いじめの未然防止・根絶に向けて、社会教育としても積極的に取り組んでいく。

プラスチックごみの削減計画を



Q 市民や団体の協力により、燃やして処理するごみの量は減少傾向にある。今年の4月1日から、プラスチック資源循環

促進法が施行されたが、国連環境計画による報告書によると、日本人一人当たりのプラスチックごみの発生量は、アメリカに次いで世界第2位となっており、プラスチックを減らし、ごみにしない努力が求められている。プラスチックの分別と言われてもすぐにできるものではなく、準備が必要。第6次綾部市総合計画の目標にもあるプラスチックごみ削減の取組はどうか。

A 法律で、プラスチックの一括回収の在り方、回収後の選別、梱包など、中間処理の在り方などの概要は示されたものの、一括回収したプラスチックの受入先となる再商品化事業者の情報はこれからとなっており、現時点では、プラスチック資源循環促進法に基づく取組内容は決まていない。近隣市においても、プラスチック資源循環促進法への取組の検討はこれからと聞いている。このような状況の中で、プラスチックを含む3Rの推進に当たっては、ごみを出さないためのリデュース（発生抑制）、リユース（再利用）の取組、リサイクル（再生利用）の基本となる分別の徹底について、引き続き啓発に努めたい。



ブラックからホワイトの教職に



Q かつて「聖職」と言われ、教え子には「師弟」のイメージがあった教職員は、今や隔世の感がある。昨今マスコミ等で、

ブラック企業と言われる学校の教職員の働き方改革について、本市教育での改善の取組は。

A 教職員の働き方の改善に向けた取組は、毎年度、保護者と地域へご理解とご協力をお願いしてきた。今年度から、導入する学校運営協議会において、教職員の働き方改革に向けて提案していききたい。

Q 山口県阿武町の支払事務ミスや、近隣市の補助金申請事務のミス、今回発生した本市の臨時特別給付金の支払ミスなど全国的に事務処理ミスや不正受給が発生しているが、本市では、今回の事務処理誤りを防止するためどのような対策や対応をしているのか。

A 新型コロナウイルス感染症関連の事業は250を超え、しかもスピード感を持った対応が求められる中で、事務処理ミスのリスクは高まっている。今回の本市での一件は幹部職員による庁議において、確実な事務執行について指示するとともに全職員に対して、会計処理マニュアル、工事等事務処理マニュアル等をいま一度徹底するように通知した。



部活動地域移行の内容は



Q 休日の部活動の地域移行を進めるべきとの提言が、公立中学校の運動部活動改革を検討するスポーツ庁の有識者会議から

文部科学省へ提出された。教員の負担軽減の意味では大きな意義がある。その一方、地方で移行が進むのか疑問もある。提出された提言の内容は。

A 休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とし、2023年度から3か年を改革集中期間に位置づけ取り組むとされており、地域スポーツ担当部署、学校担当部署、地域スポーツ団体等関係者からなる協議会を設置し、検討され実施するとされている。

Q 地域移行することにより、受け入れてくれる団体があれば、生徒が希望するスポーツに挑戦する機会が増えるのではないかと考えている。また、部活動は生徒にとって学校教育の中で、様々な成長の機会を与える重要な活動である。部活動に対する教育長の所見は。

A 部活動は、学年の枠を超えて、共通の目標を掲げた集団が切磋琢磨する中で、顧問や先輩、後輩との人間関係を学び、自主性、協調性などが養われる重要な活動だと考える。地域移行については、課題を整理する必要がある、スポーツ担当部署と連携し、検討していきたい。



これからの人口増加対策を

市政会 高橋 輝



Q 出生率を上げる取組や地方へ人材が移住する流れを作るために、自治体において新しい取組が進んでいる。本市においても医療費の負担を軽減し子育て世代の負担を軽減しているが、更に負担を軽減し定住につなげる取組ができないか。

A 国・府の動き、新たな政策と連携し、総合的かつ効果的に、子ども・子育て支援を提供し、子育て世代の定住促進を図っていく。

Q 本市には、農地はあるが宅地がないというハード面の相談を受ける。市が主体となった宅地開発に向けたインフラ整備を行うことはできないか。

A 現在、都市計画マスタープランの改定を進め、有識者からの意見聴取や検討委員会での議論を進めようとしている。民間事業に頼るだけでなく、市としても出来る事を検討していく。

Q 近年、高校生など利用者が急増している高津駅周辺の開発計画をどのように進めていくのか。駅のスロープ改修、駐輪場の整備等の計画は。

A 全体の道路法線等拡幅改良について検討を進めている。高津踏切の拡幅改良についてもJR西日本等と事前協議を進めている。早期に踏切拡幅を含めた事業に着手できるように検討していきたい。



西部地域の行政サービスの充実を

民政会 本田 文夫



Q 有権者の投票機会を確保するため、西部地域に期日前投票所設置の補正予算が計上されているが、設置場所や実施日程は。

A 物部営農指導センターに、本年8月28日執行の綾部市議会議員一般選挙から設置し、投票票日の3日前の木曜日から前日の土曜日までの間、午前9時から午後7時までの実施を計画している。

Q 東部地域では上林いきいきセンター、中部地域では市役所やコンビニ等で各種証明書が交付できる。西部地域でも各種証明書が交付可能な西部地域振興支援センター建設について検討状況は。

A 現在、副市長をトップに関係部署が参加するプロジェクトチームを設置し、西部地域の行政サービスや地域支援業務を行うため、施設の設置場所、業務内容、必要な人員体制等について検討している。

Q 豊里・物部・志賀郷3地区の長年の要望であった西部分駐所の設置に向けた取組が庁内で進んでいると聞かすが、その取組状況は。

A 現在、防災拠点としての機能や西部地域内への現場到着までの所要時間、出勤のしやすさなどを考慮し、設置場所の選定や業務内容などによる体制も庁内で検討チームを立ち上げて協議している。



奥上林地区の上水道について問う

市政会 渡辺 弘造



Q 市民の皆様は普段意識をされていないと思うが、水道の蛇口をひねれば安全な飲み水が出てくる。こんな当たり前の日常

が奥上林の多くの地域では確保出来ておらず、個人での飲用井戸による利用がほとんどである。安心安全な上水道を100%整備し、市民に同一のサービスを実施することは行政としての責務ではあると考えるが、奥上林地域は自治会が点在し延長も長くなるといった条件の中、費用を考えた場合管路での整備は難しいと考える。今後の、奥上林地域における未普及地への対策についての考え方は。

A 市の責務として公衆衛生の向上、生活環境の改善の観点からも早急に対応できる施策が必要と考える。対策として、従来の水道整備事業とは異なる手法で、より安全な飲用水等の確保を図るため、飲用井戸などの整備を行う方に対し、整備費用や水質検査の費用などの支援を行う補助金制度の導入を検討している。これにより新設や、老朽化施設の更新がしやすくなり、より安心な水の確保が図れると考える。アンケート調査によると約6割の方が実施を希望されており、新たな補助制度の活用を地元住民の理解を得ながら令和5年度を目標に導入を進めていきたい。

障害者医療制度について問う



Q 障害者手帳には身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の3つがあり、福祉医療費受給者証を交付されて

いるのは、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳Aをお持ちの方のみである。精神障害者も福祉医療費制度に含めることはできないか。

A 精神障害者の経済的負担に配慮した医療制度となるように、府全体の制度として取り組むのが望ましい。府では現在、福祉医療制度の在り方を検討する動きもあり、精神障害者に対する福祉医療制度の拡充について府に要望していく。

Q 文部科学省は、今年の1月31日全国の公立学校のうち1,897校が2021年度の始業日時点で臨時教員を補充できず、2,558人の教員不足が発生したと発表した。本市での現状はどうか。

A 府が配置する教員数には欠員はなく、学級担任や教科担任は配置できているが、非常勤講師は現在も不足し、産休等の代替教員は確保が困難な状況である。府に引き続き要望していく。

Q GIGAスクール構想が始まり一年経つが、学校現場での様子は。

A 授業や児童会活動などでの活用が進み、文房具として浸透してきた。タブレットドリルも導入し効率的に取り組む。



コロナ禍、高齢者介護への支援を



Q コロナ禍において、国は介護事業所の減収に対して手当を

求めることを求めた。本来、公的に補うべきであり市のコロナ感染対策費の活用ができないか。

A 事業所の判断で、利用者同意の上の負担は制度上やむを得ないと判断した。

Q ショートステイ中にコロナ陽性者が発生し、他の利用者も施設にとどまらざるを得ない場合、予定外の利用料が発生し、限度額を超えると十割負担も発生する。何らかの支援が必要ではないか。

A 家族へ感染防止のため施設内療養となった場合、利用期間が延長され自己負担が増えるが介護保険での対応となる。

Q 今年に入り、深刻な感染拡大があった。介護施設でコロナ陽性者が発生しても入院できず、職員体制が非常に困難な中で療養・介護を続けたと聞く。このような事態を再び招かないため市としての考え、決意はどうか。

A 第6波では高齢者施設でのクラスターが複数発生し、市からは感染防護用品を配布した。4月には京都府が、速やかな検査実施のため抗原キットを配布された。市としては重症化予防のため、入所者に対する4回目のワクチン接種を高齢者施設と連携して取り組んでいる。



消防団員の処遇改善を



Q 現在、消防団員が使用している防火衣の防火性能や配備数は、基準を満たしているのか。

A 消防団の防火衣の基準は、消防団装備の基準に定められている。しかし、現在の防火衣は、防火性能や配備数が消防団の装備基準を満たしていないため、今後、基準に適合するよう消防団と協議を行い、装備の充実・強化に努めたい。

Q 2017年3月、改正道路交通法の施行により、準中型免許が新設されたため、改正後に普通免許を取得した者は、3.5トン以上の車両は運転できなくなってしまった。そのため、各分団に配備してある消防ポンプ自動車は運転するには準中型免許が必要となり、免許取得の費用の補助について検討が必要と考えるがどうか。

A 消防ポンプ自動車を運転できない消防団員が増えることが予想されることから、「綾部市消防団の未来を考える会」で準中型自動車を運転できる団員を育成する必要があるとし、準中型免許の取得について、対象者や費用負担等について議論された。免許取得については、更に消防団と協議を重ね、対応していきたい。



Q 綾部市にゆかりがある元祖カリスマ教師出口汪先生が、受験用言語プログラムを小学生用にアレンジした論理エンジン

キッズがある。今年度から日本の公立小学校で初めてとなる綾部・中筋・吉美の3小学校で論理的思考力を高める授業教材として導入された。論理的思考力とは、物事の道筋を立てて考え、一貫した話や説明力が向上し、自分の考えをしっかりと言語化して説明することができる。また、相手の話も理論的に聞けるので、頭が良くなるだけでなく、非行や反抗期が少なくなるという。導入の経緯と狙いは。

A 「あい」のある学習指導に基づき、論理的に思考し、表現したり、他の考えを尊重し伝えあったりする言葉の力の育成を学校教育の重点に掲げている。3小学校では特に筋道立てて考える力・伝える力を身に付けさせるためこの教材が効果的だと考えて今年度から導入をした。

Q 他市内小学校に導入の考えは。

A 学校における教科書以外の教材は、それぞれの学校の特色ある取組を進めるためにも、各学校で選定することが望ましいと考える。これから論理的思考力や課題解決能力・問題解決力の育成に努めていきたい。

可決した意見書

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立て等に使用しないよう求める意見書

沖縄戦では一般住民を巻き込んだ悲惨な地上戦が行われ、多くの尊い命が失われた。沖縄の住民のみならず、全国から召集された日本兵をはじめ、様々な背景を持つ戦没者の遺骨が現在も沖縄の地に眠っており、糸満市摩文仁の平和祈念公園内にある「平和の礎」には、国籍や軍人・軍属・民間人の区別なく沖縄戦等で亡くなられた24万有余の人々の氏名が刻銘されている。

この沖縄戦では、京都府出身の軍人2千5百有余の人々が命を落とすこととなり、これらの人々の御冥福を祈るため、沖縄県宜野湾市嘉数^{かかず}の丘には「京都の塔」が府民によって建立され、毎年現地において慰霊巡拝、慰霊式が催されている。

戦没者の遺骨収集が今も続く中、犠牲になった人々の遺骨等が入った土砂を、いかなる目的でも利用することは、戦没者とその遺族の尊厳の尊重を求める願いに背くもので、人道上許されるものではない。

よって、国におかれては、下記の事項を速やかに実現されるよう強く求める。

記

- 1 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を、埋め立て等に使用しないこと。
- 2 わが国で唯一、住民を巻き込んだ地上戦があった沖縄の事情に鑑み、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」を遵守し国が主体となって戦没者遺骨収集を実施すること。

議員の表彰

第98回全国市議会議長会定期総会において、安藤和明議員、高橋輝議員が議員在職15年以上の表彰を受けました。

令和3年度政務活動費の収支内容をお知らせします。

政務活動費は、地方自治法第100条第14項及び第16項の規定に基づき、「綾部市議会政務活動費の交付に関する条例」を定めて、市議会議員の調査研究に必要な経費の一部として交付されます。会派に対し、月額1万5千円／人。

なお、詳細については、市議会ホームページ、情報公開コーナー（市役所東庁舎1階）で公開しています。

（単位：円）

会 派	政 務 活 動 概 要	交付上限額	支出総額	交付決定額
民 政 会	タブレット通信料、研修参加、プリンタ購入、コピー代、書籍購入	1,110,000	322,546	321,000
創 政 会	会報発行、折込料、タブレット通信料、プリンタ購入、コピー代、新聞購読	900,000	511,267	511,000
日本共産党	会報発行、折込料、タブレット通信料、コピー代	720,000	688,111	687,000
公 明 党	タブレット通信料、新聞購読	180,000	100,045	99,000
心 友 会	タブレット通信料	180,000	15,204	14,000

※支出総額と交付決定額の差額は会派で支払われています。

令和3年度議長交際費の支出内容をお知らせします。

綾部市議会が取り組んでいる議会改革の一環として、議長交際費を市民に積極的に公開しています。

令和3年4月から令和4年3月までの支出について報告します。

また、ホームページにおいても公開しています。

（単位：円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
御祝							5,000		5,000	10,000			20,000
弔費	8,250					11,000				11,000			30,250
会費								5,000					5,000
その他									5,000				5,000
月計	8,250	0	0	0	0	11,000	5,000	5,000	10,000	21,000	0	0	60,250

令和4年9月定例会の日程予定

9月定例会は、9月20日から10月26日までの37日間の会期で予定しています。

9月20日(火) 本会議(議長・副議長・監査委員等の選任)

21日(水) 本会議(議案上程、人事案件採決)

29日(木) 請願受理締切り(正午)

30日(金)～10月4日(火) 一般質問

10月5日(水) 総務教育建設委員会

10月6日(木) 産業厚生環境委員会

10月7日(金) 予算決算委員会(総括質疑)

11日(火) 予算決算委員会(予算審査)

14日(金) 本会議(採決)

17日(月)～24日(月)

予算決算委員会(決算審査)

26日(水) 本会議(採決)

次世代からのメッセージ

～綾部中学校生徒会～
(令和4年7月 取材)

生徒会役員としての希望や決意は

- ・綾中が良くなるよう責任をもって行動する。色々な人から良く思ってもらえる、信頼してもらえる学校をつくっていきけるように頑張る。
- ・誰もが笑顔で安心した学校生活を送れるように日々努めていきたい。「学び」への意欲を高め、輝く未来を切り拓いていけるような学校づくりをしていきたい。
- ・綾部中学校の良さをたくさん見つけ、良いところをどんどん伸ばしていきたい。
- ・綾部中学校のリーダーとなり、全校を引っ張り、明るい学校にするための手助けをしたいと思う。
- ・生徒会役員として選ばれたからには、責任感を持って、全校の手本となる行動をとれるようにしていこうと思います。
- ・地域の人とも、生徒とも関わっていきたい。
- ・綾部の役に立ちたい。まちに貢献する。
- ・もっともっと地域の方に応援していただける、笑顔であふれる学校をつくっていきけるよう頑張る。
- ・生徒会役員として全力で取り組む。例えば、取組や行事に対して、また日常生活の掃除や挨拶に対しても全力で取り組む。目標は読書が好きな人を増やすことだから色々な取組をしたい。

綾部のどんなところが好き

- ・自然が多く、人が温かく優しいところ。
- ・野菜が新鮮でとてもおいしい。・物づくりが盛んなところ。
- ・水がきれいなところ。由良川は綾部の魅力。
- ・山や川など、自然で散歩とかすると虫の音とか聞こえていい。
- ・田舎っぽくも、都会っぽくもないところ。
- ・景色がきれいなところ。すごく素敵な街だと思います。
- ・地域の人と交わり（親しみ）やすい。

綾部に住み続けたいですか？

- ・故郷として楽しみにして帰ってくる。自然など楽しみたい。
- ・自分の生まれ育った場所で、自分が何か返せるような人になって綾部に貢献したいと思ったから。
- ・静かで落ち着く。物づくりが好きで、自然が好きだから。
- ・もっと様々な雰囲気を感じとりたい、色々な人と出会いたい。
- ・綾部には住まないけれど、たまに故郷に帰ってきて自然に親しみたい。
- ・自分の夢をかなえるために綾部を出て頑張ろうと思っているが、綾部は生まれ故郷なので、家族や友達に会いにたまに帰ってきたい。

はい 11人
いいえ 4人



「次世代からのメッセージ」中学校最終回は綾部中学校を訪問し、生徒会役員のみなさんの声を聞いてきましたのでご紹介いたします。
(アンケートは専門部長6人からも回答をもらっています)



綾部に欲しいものは？

- ・ユニクロ、IKEA、コストコ ・アニメイト ・au
- ・カフェ(スタバ)、本屋、映画館 ・坂を平らにしてほしい
- ・遊園地（乗り物をたくさん造るのではなく、自然を活かした魚釣りやカヌーなどを取り入れる）
- ・アミューズメントパーク、テーマパーク
- ・みんなが自由に遊べるスペース。駐車場や駅では危ないと思うからのびのびとできるスペース

将来の夢、どんな職業に就きたいの？

- ・音楽、美術関係、スポーツ関係 ・医療系、物づくり系
- ・色々な人を笑顔にできる職業 ・自分の会社をもつ
- ・国際的な仕事 ・理学療法士 ・学校の先生
- ・人の役に立ちたい。人の喜びと一緒に喜びたい派なので

取材を終えて

学校をもっと良くしたいという使命感をもち、笑顔あふれる中で活動する生徒会役員でした。
生徒会活動に取り組んでいる上級生の恰好良い姿をみて、あるいは明確な目標をもって立候補された皆様、活動開始から半年が過ぎた今も、当初の思いが色あせることなく輝き続けておられます。
生徒会スローガン 繋 ～仲間とつながり 共に未来へ～
様々な繋がりを大切にし、未来への更なる大きな飛躍を期待しております。

編集後記

5月に各自治会連合会単位で開催させていただきました「市民と議会のつどい」では、多くの皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。頂戴しました157件の貴重なご意見、ご要望を踏まえ、議会において更にまちづくりの議論を深めてまいります。

また、第18期後期の広報広聴委員会としては最後の議会だよりとなりました。9月からは新たな広報広聴委員会による編集となりますが、今後も皆様に親しみを持っていただける議会だよりとなるよう努めてまいります。引き続きご覧いただきますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

編集／広報広聴委員会

◎種清喜之 ○井田佳代子 中島祐子 藤岡康治 梅原哲史 柳原秀一 本田文夫 安藤和明 (◎委員長 ○副委員長)

